Genie
A TEREX BRAND

操作説明書

シリアル番号の範囲

AWP® Super Series

AWPT-1001 から
AWPP-100000 から
AWPP-105086 まで

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
Fifth Edition
Third Printing
Part No. 1298033JAGT

目次

はじめに 1
シンボルと危険を表すイラストの定義..... 5
一般的な安全 7
作業員の安全 11
作業場の安全 12
説明..... 18
操作パネル 19
点検..... 20
操作手順 30
メンテナンス 33
バッテリーと充電器の操作手順 36
輸送手順 37
後方傾斜の操作手順 41
仕様..... 44

Copyright © 1996 Terex Corporation

第 5 版: 第 3 刷、6 月 2024

「Genie」および「AWP」は米国およびその他の国における
Terex South Dakota の登録商標です。

「Super Series」は Terex South Dakota, Inc. の商標です。

この機械は以下の規格と準拠しています。
ANSI/SAIA A92.20
CAN/CSA B354.6

はじめに

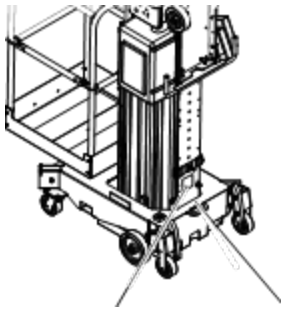
この説明書について

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。本著は、Genie 機械のユーザーもしくはオペレータのための操作および毎日の保守点検説明書となっています。

本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、Genie にお問い合わせください。

製品の識別

この機械のシリアル番号はシリアルラベルに記載されています。



シリアルプレート　　シリアル番号はシャーシに記載 .

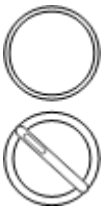
用途および訓練ガイド

本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。機械を操作する前に、この訓練ガイドを読み、理解することはオペレータの任務です。

- ☑ 各作業員は可動式上昇作業台（MEWP）を操作するためのトレーニングを受けなければなりません。
- ☑ MEWP の訓練は認定され、技能を持ち、トレーニングされた担当者に実施されなければなりません。
- ☑ トレーニングを受け、認定された担当者のみが機械を操作することを許可されなければなりません。
- ☑ 操作説明書の製品取扱説明書と安全規則をよく読み、理解し、従うことはオペレータの任務です。
- ☑ 操作説明書は作業台のマニュアル保管場所にあります。
- ☑ 具体的な製品の適用性に関しては、次のページ記載の**「製造者への連絡」**を参照してください。

はじめに

作業台操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。

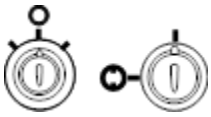


作業台上昇

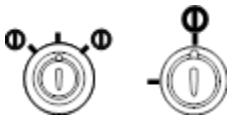


作業台下降

地上操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。



キースイッチ - オフ



キースイッチ - オン



地上操作パネル



作業台操作パネル



緊急作業台下降



低バッテリー表示器



空気圧（搭載されている場合）

インターロック機能は以下のとおりです。

- 全ての作業台および地上操作。

使用の制限は以下の場合です。

- 本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。
- 機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

はじめに

通知の配布と準拠

製品ユーザーの安全は Genie の最優先事項です。数多くのさまざまな通知は Genie が販売業者および機械の所有者に重要な安全規約と製品情報を知らせるために使用されます。

通知に含まれる情報は、機械モデルとシリアル番号を使用して特定の機械に関連付けられています。

通知の配布は、お客様を担当している販売業者によって記録されている最新の所有者情報に基づいて行われます。そのため、ご利用の機械を登録し、連絡先情報を更新することは重要です。

従業員の安全、使用している機械の継続した安全な操作を保証するために、それぞれの通知に記載されている事項に必ず準拠してください。

ご利用の機械に関する公開されている通知は www.genielift.com にアクセスしてご確認ください。

製造者への連絡

Genie にご連絡いただく必要が出てくる場合があるかもしれません。その場合には、ご利用の機械のモデル番号とシリアル番号、またお客様のお名前とご連絡情報とを合わせて提供いただくためのご準備をお願いいたします。Genie にご連絡いただく事項には最小限であっても以下があります。

事故のご報告

製品の適用性および安全性に関するご質問

標準および法規制の順守情報

機械の所有権の変更、または連絡情報の変更などの現在の所有者情報の更新以下の「所有権の譲渡」を参照してください。

機械所有権の譲渡

所要時間数分で所有者情報を更新していただくと、ご利用の機械に適用する重要な安全、保守および操作に関する情報を取得できます。

www.genielift.com にアクセスしてただくか、またはフリーダイヤル 1-800-536-1800 までご連絡いただき、ご利用の機械をご登録ください。

はじめに



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ― 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

☑ 本機械を使用するにあたって初めて設置を行うとき、ブリーザーキャップが取り付けられています。ブリーザーキャップについての指示は「操作前の点検」のセクションを参照してください。

安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ― ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

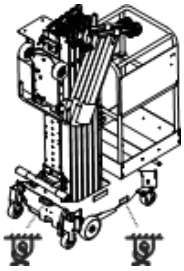
⚠ 危険 回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

⚠ 警告 回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

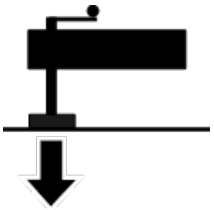
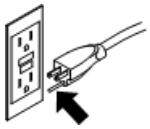
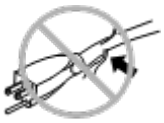
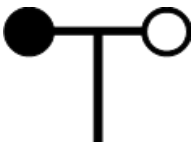
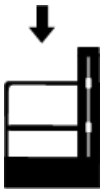
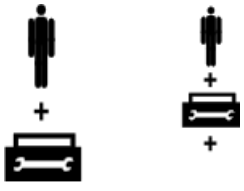
⚠ 要注意 回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意 物品の損傷に関するメッセージです。

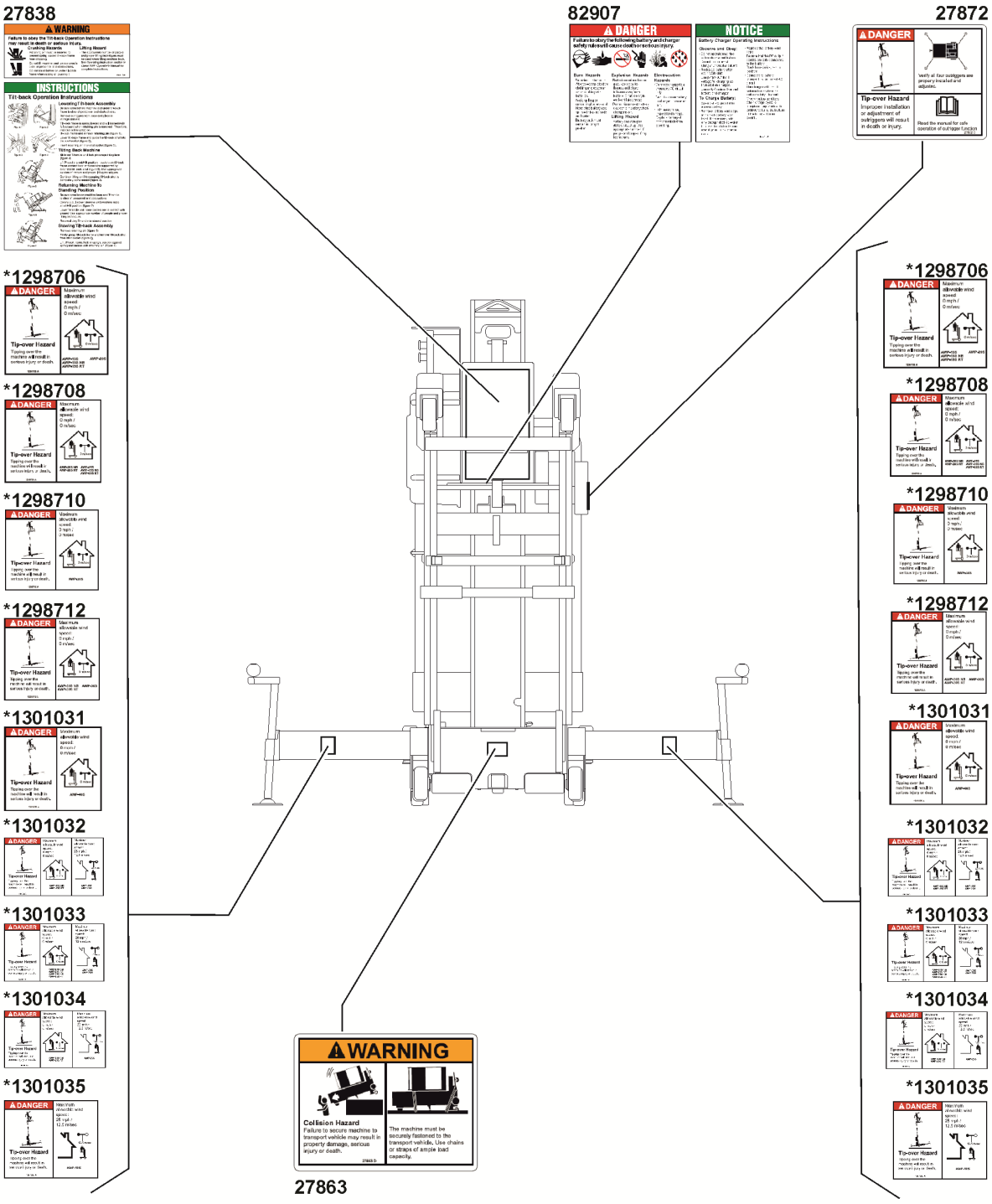
シンボルと危険を表すイラストの定義

 操作説明書を読んでください	 サービスマニュアルを読んでください	 挟まる危険	 禁煙。	 衝突の危険
 転倒の危険	 転倒の危険	 転倒の危険	 感電の危険	 転倒の危険
 やけどの危険	 爆発の危険	 火災の危険	 アウトリガーのステッカーを参照	 感電の危険
 作業台への電力の定格電圧	 作業台への空気配管の定格圧力	 挟まる危険	 輸送図	 固定用具

シンボルと危険を表すイラストの定義

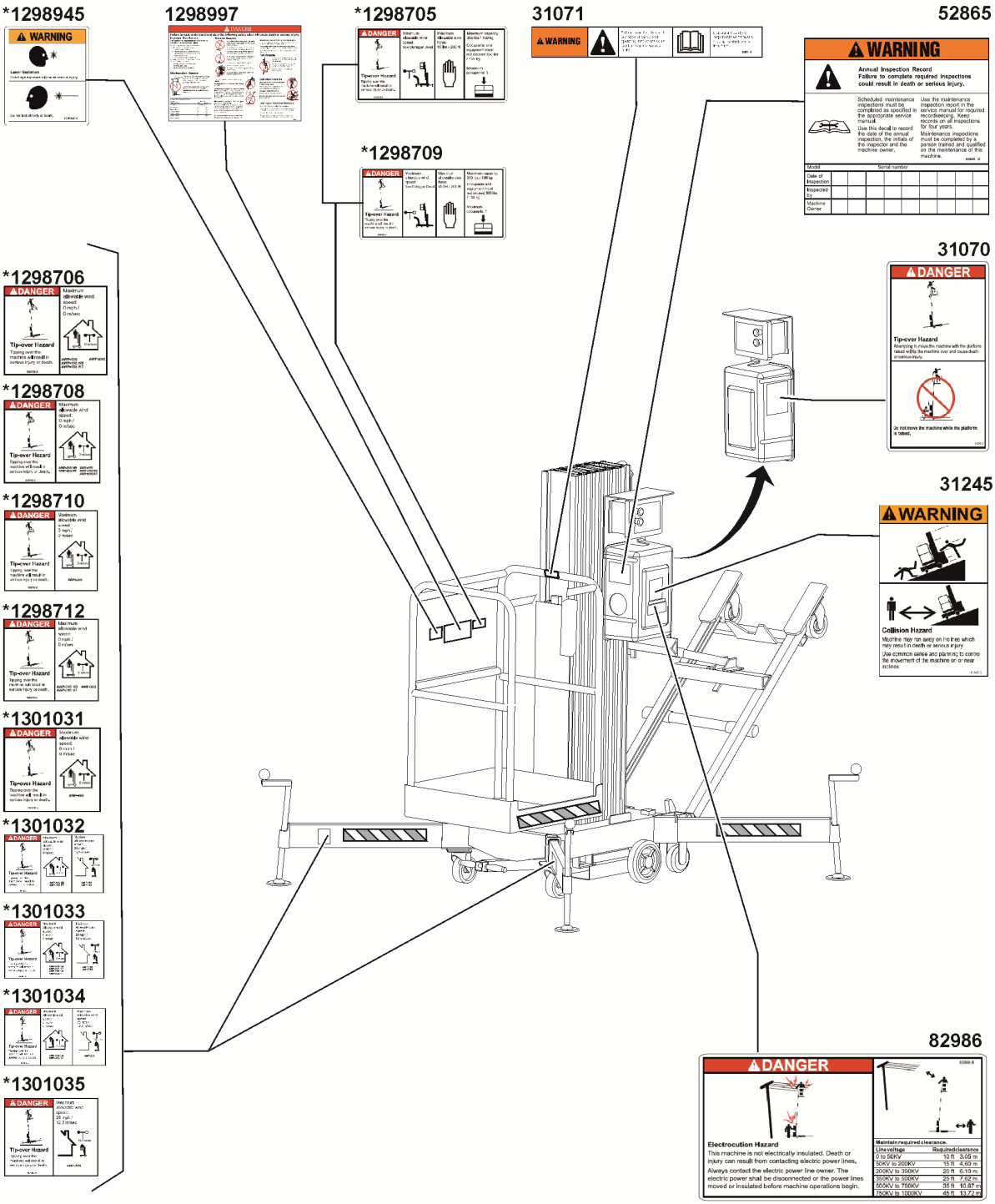
 必要な間隔を維持してください	 アウトリガー負荷	 吊り上げ点	 ブレーキを解除してください	 接地されている AC 3 ピンのみ
 損傷した電線およびコードを交換してください	 車輪荷重	 安全帯固定場所	 外圧	 風速
 最大積載荷重量	 傾斜地あるいはその近辺で機械を操作する場合は、常識的な判断と手順をもって行ってください。	 屋内	 屋外	 緊急下降
 作業員、工具、機材、オプションを含む最大積載荷重量				

一般的な安全



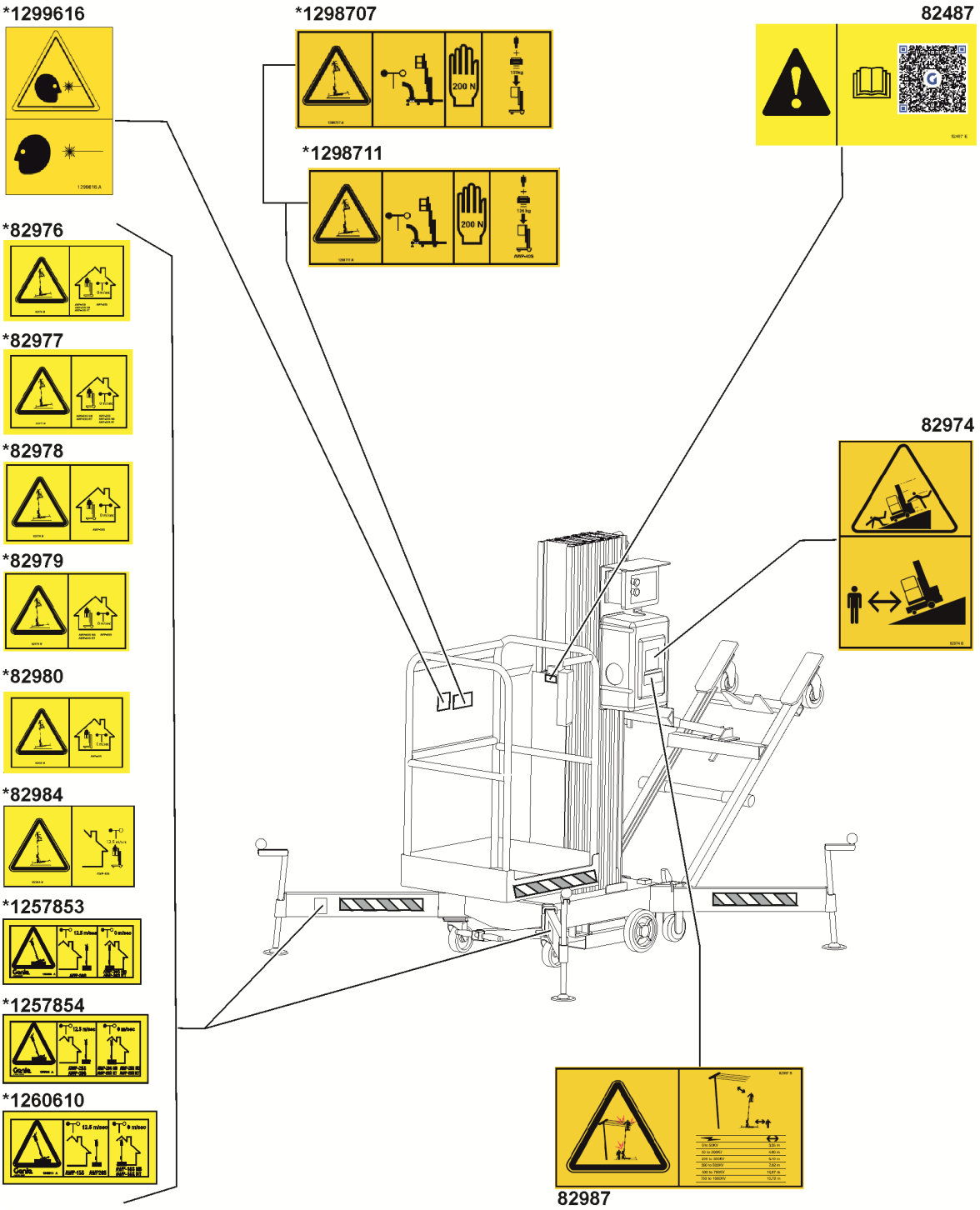
* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

一般的な安全



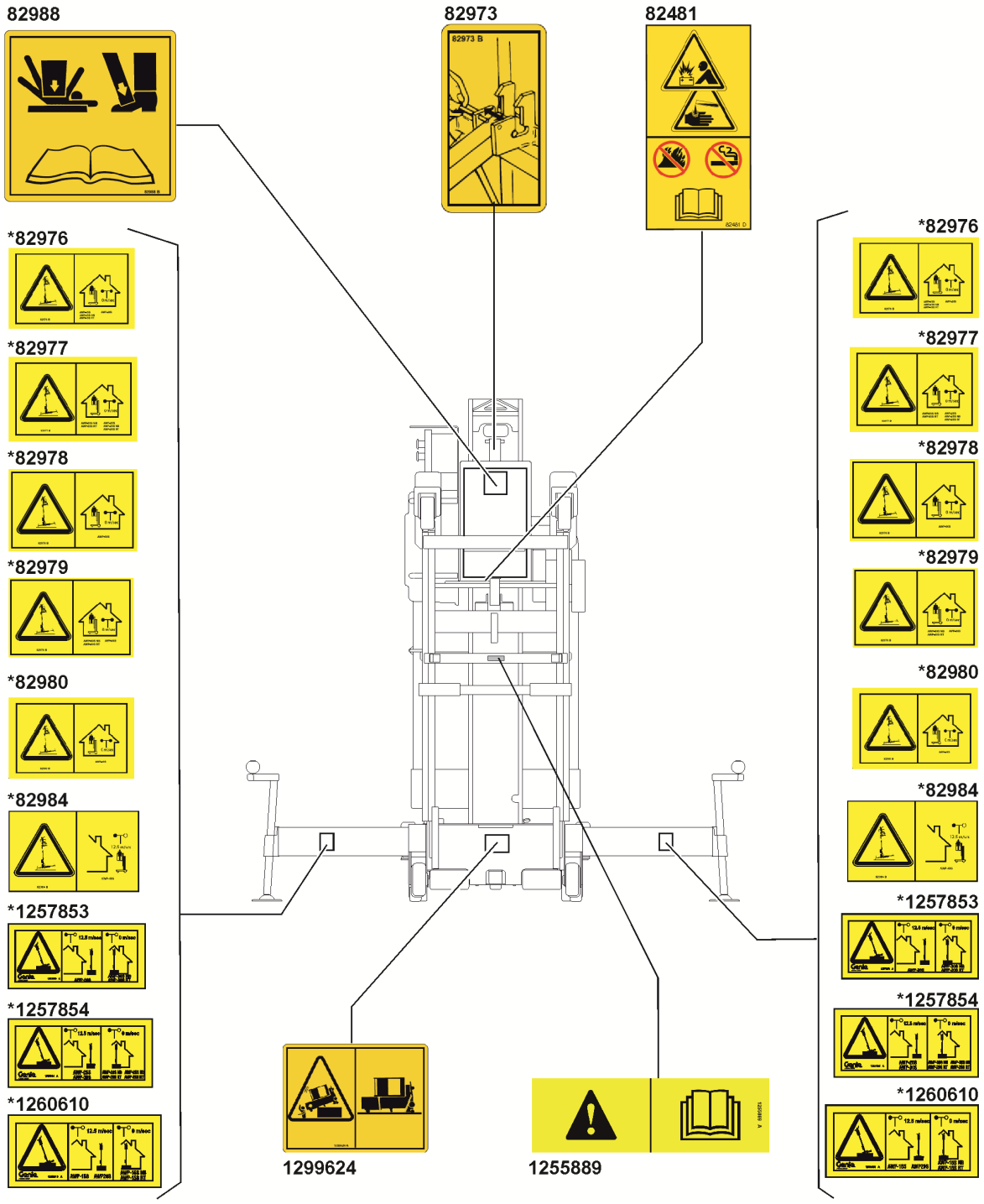
* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

一般的な安全



* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

一般的な安全



* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

作業員の安全

作業員の落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、取扱説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

作業場の安全

⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流に接触した場合や近づいた場合は電流から保護されません。オプションのファイバーグラス製の作業台も絶縁されていません。



機械が電線に接触している場合、機械に近づかないでください。地上または作業台の作業員は電線の電気が遮断されるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。



電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

電圧範囲	安全を確保するための最短距離	
0 ～ 300V	接触を避ける	
300V ～ 50KV	10 ft	3.05 m
50KV ～ 200KV	15 ft	4.60 m
200KV ～ 350KV	20 ft	6.10 m
350KV ～ 500KV	25 ft	7.62 m
500KV ～ 750KV	35 ft	10.67 m
750KV ～ 1,000KV	45 ft	13.72 m

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

AC 電源を使用する機械や DC バッテリー充電器を使用する場合は、接地した AC 回路に接続したアース付 3 ピン延長コードを必ず使用してください。アース付 3 ピンプラグを改造したり、使用不能にしたりしないでください。

⚠ 転倒の危険

土台が水平であり、4 つのアウトリガーすべてが適切に取り付けられ、ジャッキがしっかりと床に固定されていなければ、作業台を上昇しないでください。

作業台が上昇している状態で機械を移動しないでください。



作業台を使用してるとき、あるいは作業台が上昇しているときは、アウトリガーを調節したり、外したりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

作業場の安全

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。



機械が水平な状態にある場合以外は作業台を上昇しないでください。ジャッキのみを使って機械を水平な状態にできない地面では、機械を設置しないでください。



機械に水平力あるいは側面荷重を与える原因になるので、固定されている積荷やぶら下っている状態の積荷を上下に移動させないでください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

最大許容外圧力
45 lbs/200 N

急に低くなっているところ、くぼみ、でこぼこした道、障害物がある場所、不安定な地面、滑りやすい表面、あるいは他の危険な状態の近辺では機械を操作しないでください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

機械の作業台側から Genie AWP を押さないでください。

フォークリフトや他の輸送車両を使って機械を移動するときは、作業台を完全に下げ、機械の電源を切り、作業員が作業台を降りてから行ってください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

製造元からの書面での通知なしに高所作業台を改造したり変更したりしないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、または手摺りに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。

作業場の安全

屋外用アウトリガー付きの標準ベースのモデル:
風速が秒速 28 mph / 12.5 m を超える場合は作業台を上げないでください。秒速 28 mph / 12.5 m 以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。

屋内用アウトリガー付きの標準ベースのモデル:屋内使用のみ。風速が 0 mph/秒速 0 m を超える場合、作業台を上昇しないでください。
0 mph/秒速 0 m 以上の風速のもとで作業台を上昇している場合は、作業台を下降し、機械の操作を中止してください。

狭幅または RT ベースモデル(搭載されている場合):屋内使用のみ。風速が 0 mph/秒速 0 m を超える場合、作業台を上昇しないでください。
0 mph/秒速 0 m 以上の風速のもとで作業台を上昇している場合は、作業台を下降し、機械の操作を中止してください。



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

最大積載荷重量		
AWP-20S	350 lbs	159 kg
AWP-25S	350 lbs	159 kg
AWP-30S	350 lbs	159 kg
AWP-36S	350 lbs	159 kg
AWP-40S	300 lbs	136 kg
最大作業員数		**1 名**

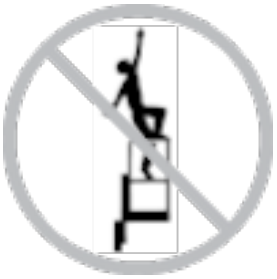
⚠ 手のケガの危険

手や腕をマストに近づけないでください。

地上からコントローラを使って機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。オペレータ、機械、固定物との間には安全な距離を保ってください。

作業場の安全

⚠ 落下の危険



手摺りは落下防止用です。もし作業台にいる作業員が作業場規約や従業員規約により落下防止装備（PFPE）を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使用方法は PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従って実施してください。安全帯を作業台のアンカーに取り付けてください。

作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。

作業台が上昇しているときに作業台から降りないでください。電源障害が起きた場合は、地上の作業員により手動下降バルブを作動してください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

⚠ 衝突の危険

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。



傾斜地あるいはその近辺で機械を操作する場合は、常識的な判断と手順をもって行ってください。

作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

下降している作業台には近づかないでください。

作業場の安全

⚠ 人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

⚠ 爆発と火災の危険

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、機械の保管場所に保管されているようにしてください。

⚠ バッテリーの安全管理

やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。



バッテリーパックは常に直立した状態に維持してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

作業場の安全

爆発の危険



火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

よく換気された場所でバッテリーを充電してください。



バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。



充電器がオンのときは、バッテリーから充電器 DC 出力配線を取り外さないでください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24V トより高い電圧の充電器を使用しないでください。

感電/やけどの危険



充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

持ち上げ時の危険

バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手段で行ってください。

⚠ 誤った使用による危険

関係者以外による使用を避けるため、機械から離れる際はキーを取り外してください。

使用後のロックアウト

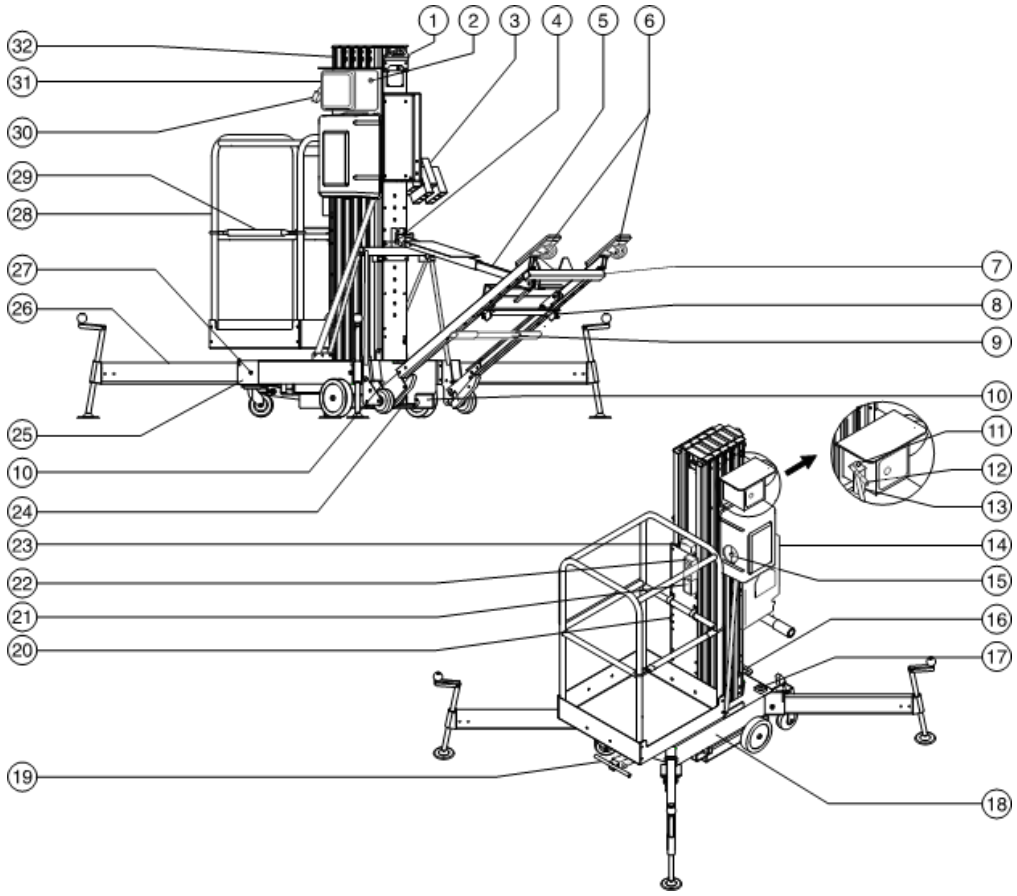
1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

4 バッテリーを充電します。

説明

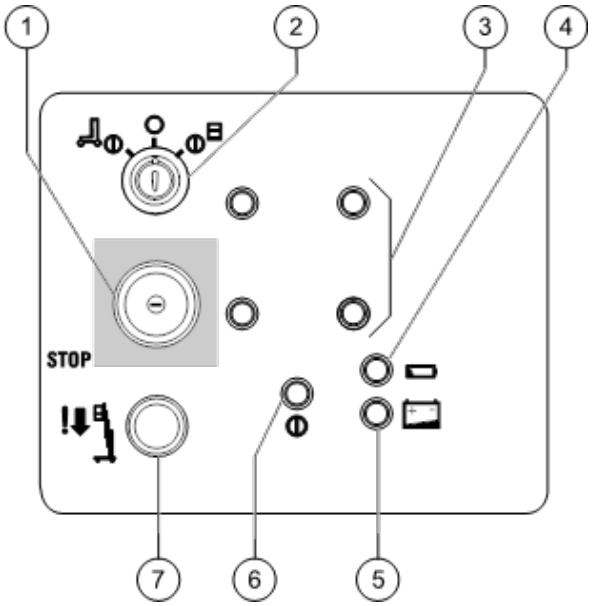


1 リフト用金具
2 AC モデル: 回路ブレーカー
3 アウトリガー収納口
4 支柱収納口の後方傾斜フレーム固定ピン
5 後方傾斜支柱
6 旋回ロック
7 後方傾斜フレーム
8 積荷止めブラケット
9 積荷ピボットバー
10 フォークリフトポケット
11 空気管潤滑装置調節ノブ（搭載されている場合）
12 機械への空気の供給（搭載されている場合）
13 空気管潤滑装置（搭載されている場合）
14 DC モデル: 充電器付きバッテリーパック
15 油圧ユニット
16 ウィンチ/荷締箇所
17 水準器
18 ベース
19 スライド式 T ハンドル
20 安全帯固定場所
21 AC コンセント
22 作業台操作パネル
23 操作説明書保管場所
24 手動下降バルブ（機械下）
25 ベースアウトリガー収納口
26 ジャッキ付きアウトリガー
27 アウトリガーロックピン
28 作業台
29 作業台出入口中間レールまたはゲート
30 AC モデル: 機械への電源
DC モデル: 作業台への電力
31 地上操作パネル
32 マスト

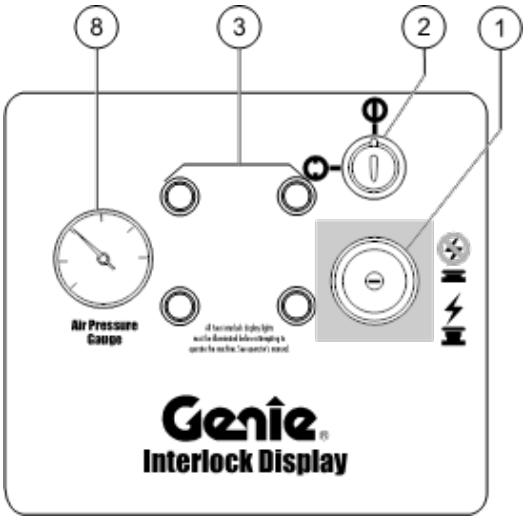
操作パネル

地上操作ステーションは、非常事態の際に、作業台に閉じ込められた作業員を救出するために使用することができます。

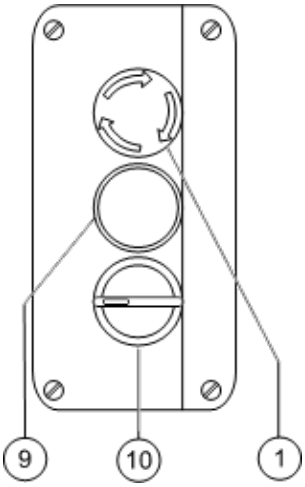
地上操作パネル - AC および DC モデル



地上操作パネル - エア式モデル（搭載されている場合）



作業台操作パネル



1 赤色非常停止ボタン
2 キースイッチ
3 アウトリガーインターロック表示ランプ（4）
4 補助下降用低バッテリー表示ランプ
5 DC モデル: 低バッテリー表示ランプ
6 電源ランプ
7 作業台補助下降ボタン
8 空気圧計（搭載されている場合）
9 制御作動ボタン
10 上昇/下降スイッチ

点検

操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

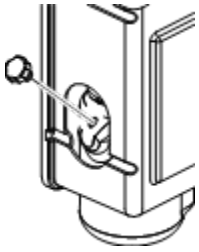
4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

ブリーザーキャップ - AC および DC モデル

ブリーザーキャップなしで操作すると部品への損傷が発生します。ブリーザーキャップが油圧容器の正しい位置に取り付けられていることを確認してください。

本機械を使用するにあたって初めて設置を行うとき、油圧容器のパイププラグを取り外し、替わりにブリーザーキャップを取り付けます。



ブリーザーキャップは、マニュアル保管ボックス内に付属されています。

操作前の点検の基本

操作前の点検と規定保守はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが行う目視点検です。この点検はオペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定保守作業が必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定保守項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目を確認してください。

損傷または工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理完了後、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

試験および検査に関するすべての地域と政府の規制に従ってください。

点検

操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが文字が読める状態で、所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかを確認します。必要に応じて蒸留水を補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ AC および DC モデル: 作動油の漏れがなく、量が適当であることを確認してください。必要に応じてオイルを補充してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ RT ベースモデル（搭載されている場合）: タイヤの空気圧が適切であることをチェックします。必要に応じて空気を入れてください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ エア式モデル（搭載されている場合）: 空気管潤滑装置のオイル量を確認します。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ エア式モデル（搭載されている場合）: オイル潤滑装置キャニスターのオイルドリップレートを確認します。必要に応じて調節してください。「保守」のセクションを参照してください。
- ❑ エア式モデル（搭載されている場合）: 空気フィルター/レギュレータ キャニスターを点検します。必要に応じて排水してください。「保守」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ AC および DC モデル: 油圧ユニット、容器、ホース、フィッティングおよびシリンダー
- ❑ エア式モデル（搭載されている場合）: 空気電力ユニット、空気管、フィッティングおよびシリンダー
- ❑ 作業台出入口中間レールまたはゲート
- ❑ シークエンス ケーブルと滑車
- ❑ リフトチェーンおよびアイドラーホイール
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ マスト柱と釣合い重り
- ❑ ブリーザーキャップ
- ❑ アウトリガー、ジャッキおよびフットパッド
- ❑ 調節可能な摩耗板
- ❑ 安全帯固定場所
- ❑ キャスターおよびブレーキ（搭載されている場合）

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ バッテリー端子とバッテリーの配線すべてを点検し、清掃します。
- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

点検

機能テスト

設置

1 作業場の真下のしっかりとした地面に機械を置きます。

2 適切な電源に接続します。

DC モデル: バッテリーパックを接続します。

AC モデル: 接地されている 15A の AC 電源装置に接続します。50 フィート/13 m 以下の 12 ゲージ/3.3 mm^2 アース付 3 ピン延長コードを使用してください。

エア式モデル（搭載されている場合）: 空気配管を接続します。

3 キーを差し込んで作業台操作の位置に回します。

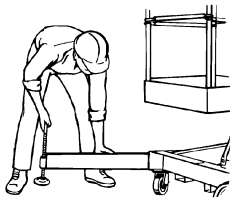
4 地上操作で赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

5 作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。

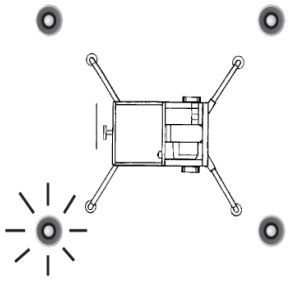
⊙ 結果:AC および DC モデル:電源ランプが点灯します。

エア式モデル（搭載されている場合）:空気圧力計が 80～110 psi/5.5～7.8 バールを示します。

6 アウトリガーを選び、アウトリガーのロックピンが正しい位置にスナップするまで収納口にスライドさせます。機械が水平で、ベースキャスターが地上から少し離れるよう、アウトリガーを調節します。アウトリガー以外を使用して機械を水平にしないでください。

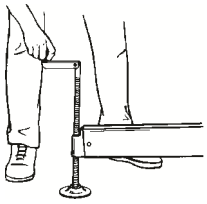


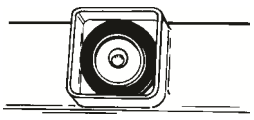
7 地上操作でインターロック表示ランプを確認します。対応するランプが点灯していることを確認します。



8 その他のアウトリガーに対してこの手順を繰返します。

9 水準器を使って、機械のベースが水平になるようジャッキを調節します。





点検

非常停止のテスト

10 地上操作の赤色非常停止ボタンを押して OFF (オフ）にします。

11 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを任意の走行方向に回します。

⊙ 結果：上昇/下降機能は作動しません。

12 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

13 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

14 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを任意の走行方向に回します。

⊙ 結果：上昇/下降機能は作動しません。

アウトリガーインターロックのテスト

15 作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。

⊙ 結果：上昇/下降機能が作動します。

16 対応するインターロック表示ランプが消えるまで、1 つのジャッキを緩めます。

⊙ 結果：上昇/下降機能は作動しません。

17 ジャッキを元に戻し、水準器を確認します。

18 各アウトリガーに対してこの手順を繰返します。

作業台補助下降のテスト - AC および DC モデル

19 作業台を少し上昇させます。

20 電源を機械から外します。

21 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

22 地上操作で作業台補助下降機能ボタンを押します。

⊙ 結果：作業台が下降します。

23 電源を機械に接続します。

24 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

25 作業台を少し上昇させます。

26 電源を機械から外します。

27 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを下方向に回します。

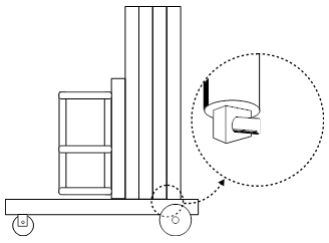
⊙ 結果：作業台が下降します。

28 電源を機械に接続します。

手動下降のテスト

29 作業台を少し上昇させます。

30 油圧シリンダーの底にある手動下降弁を作動させます。



⊙ 結果：作業台が下降します。

点検



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

点検

警告用語付きステッカーの点検

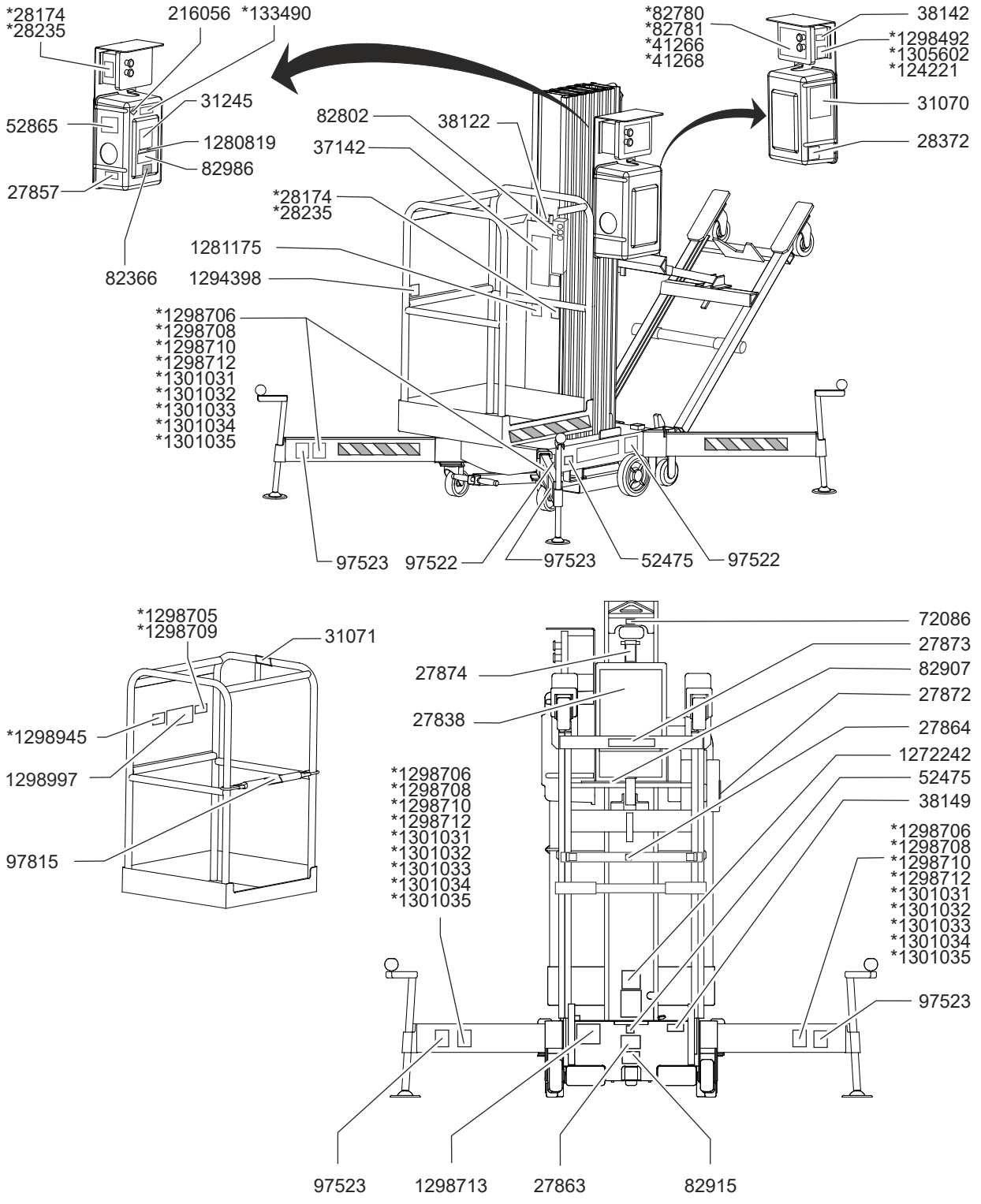
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
27838	警告 ー 後方傾斜の危険/指示	1
27857	要注意 ー パイププラグ	1
27863	警告 ー 衝突の危険	1
27864	注意 ー バッテリーパックを取り付ける前に、ストップブラケットを下げる	1
27872	危険 ー 転倒の危険、アウトリガー	1
27873	注意 ー しっかりと握る	1
27874	ラベル ー 固定ピンを挿入	1
28174	ラベル ー 作業台への電力、230V*	2
28235	ラベル ー 作業台への電力、115V*	2
28372	ラベル ー バッテリーパックのプラグを外す	1
31070	危険 ー 転倒の危険、移動	1
31071	警告 ー 必読	1
31245	警告 ー 衝突の危険	1
37142	注意 ー 操作指示	1
38122	ラベル ー マニュアル保管場所	1
38142	ラベル ー 回路ブレーカー、AC モデル	1
38149	ラベル ー 特許品	1
41266	ラベル ー インターロック表示、エアモデル、標準ベース*	1
41268	ラベル ー インターロック表示、エアモデル、狭幅ベース、不整地用ベース*	1
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め	3
52865	警告 ー 1 年毎の点検記録	1
72086	ラベル ー 吊り上げ点	1
82366	ラベル ー Chevron Rando	1
82780	ラベル ー インターロック表示*	1
82781	ラベル ー インターロック表示*	1
82802	ラベル ー 機能作動	1
82907	危険 ー バッテリー充電器の安全	1
82915	ラベル ー 手動下降弁	1
82986	危険 ー 感電の危険	1
97522	ラベル ー ホイール荷重	4
97523	ラベル ー アウトリガー負荷	4
97815	ラベル ー 中間レールを下げる	1
124221	ラベル ー 入力電源、110 VAC*	1
133490	ラベル ー 指示、携帯コントロール*	1
216056	警告 ー 関係者以外による使用の危険	1
1272242	ラベル – 機械の登録	1
1280819	ラベル ー 警告、がんと生殖害、Prop 65	1
1281175	ラベル – 安全帯固定箇所、落下阻止	1
1294398	ラベル ー ANSI/CSA 準拠	1
1298492	ラベル ー 入力電源、100VAC*	1
1298705	注意 ー 最大許容量/側方圧力、350 lbs、AWP*	1
1298706	危険 ー 20 in/50.8 cm アウトリガー到達、屋内*	4
1298708	危険 ー 26 in/66 cm アウトリガー到達、屋内*	4
1298709	注意 ー 最大許容量/側方圧力、300 lbs、AWP*	1
1298710	危険 ー 31 in/78.4 cm アウトリガー到達、屋内*	4
1298712	危険 ー 36 in/91.4 cm アウトリガー到達、屋内*	4
1298713	ラベル ー 輸送図	1
1298945	ステッカー ー 警告、作業台配置ランプ、用語*	1
1298997	危険 ー 一般安全	1
1301031	危険 ー 40 in/101.6 cm アウトリガー到達、屋内*	4
1301032	危険 ー 46 in/116.8 cm アウトリガー到達、屋外*	4
1301033	危険 ー 60 in/152.4 cm アウトリガー到達、屋外*	4
1301034	危険 ー 75 in/190.5 cm アウトリガー到達、屋外*	4
1301035	危険 ー 85 in/215.9 cm アウトリガー到達、屋外*	4
1305602	ラベル ー 入力電源、220 VAC、12A*	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

点検


*28174
*28235
216056
*133490
31245
52865
1280819
82986
27857
82366
82802
38122
37142
*28174
*28235
1281175
1294398
*1298706
*1298708
*1298710
*1298712
*1301031
*1301032
*1301033
*1301034
*1301035
97523
97522
97523
52475
97522
*82780
*82781
*41266
*41268
38142
*1298492
*1305602
*124221
31070
28372
*1298705
*1298709
31071
*1298945
1298997
97815
27874
27838
72086
27873
82907
27872
27864
1272242
52475
38149
*1298706
*1298708
*1298710
*1298712
*1301031
*1301032
*1301033
*1301034
*1301035
97523
97523
1298713
27863
82915

点検

シンボル付きステッカーの点検

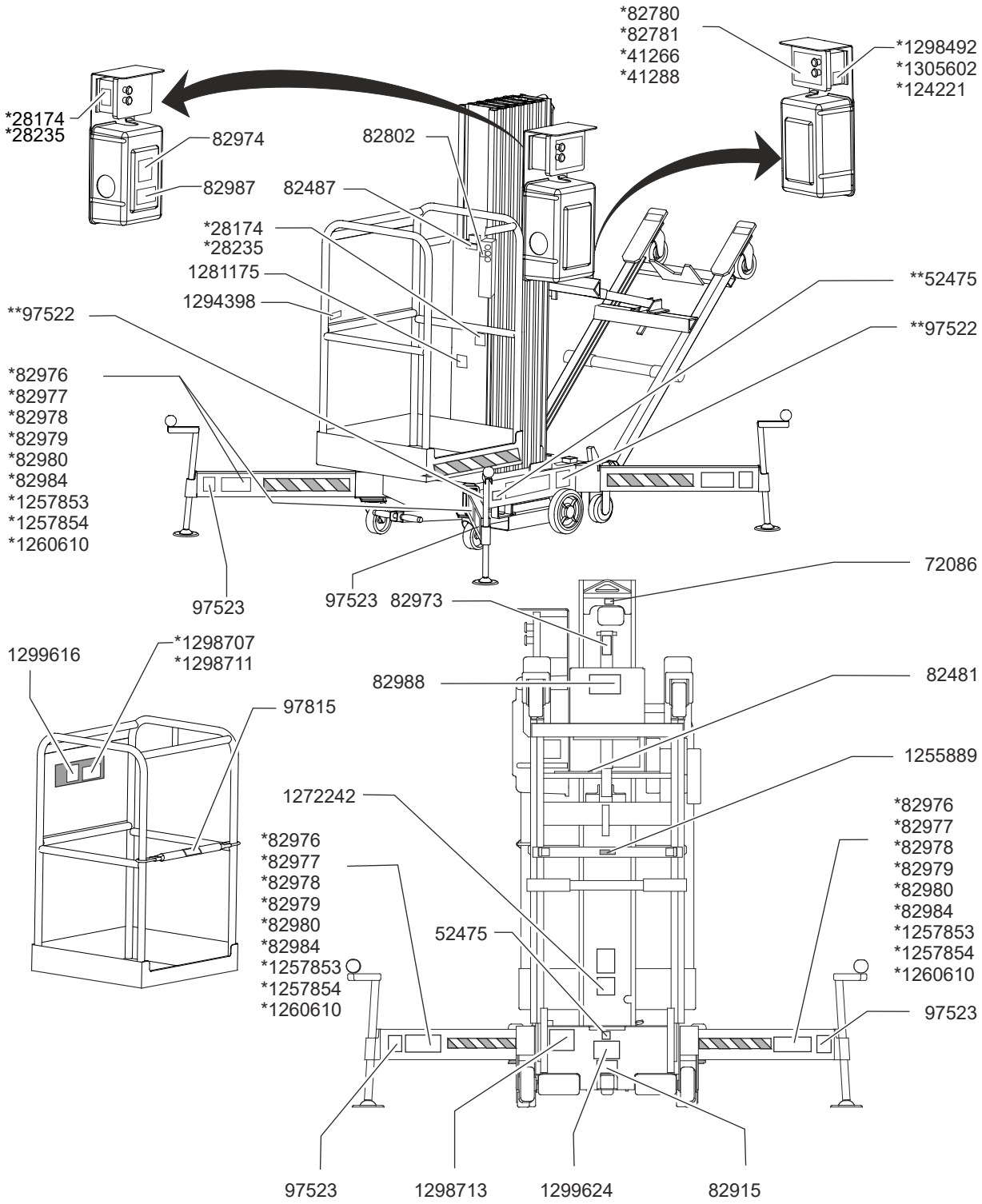
機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	ステッカーの説明	数量
28174	ラベル ー 作業台への電力、230V*	2
28235	ラベル ー 作業台への電力、115V*	2
41266	ラベル ー インターロック表示、エアモデル、標準ベース*	1
41288	ラベル ー インターロック表示、エアモデル、NB/RT ベース*	1
52475	ラベル ー 輸送用の荷締め	3
72086	ラベル ー 吊り上げ点	1
82481	ラベル ー バッテリー/充電器の安全	1
82487	ラベル ー マニュアルを読む	1
82780	ラベル ー インターロック表示 AC、DC、標準モデル*	1
82781	ラベル ー インターロック表示、AC、DC、NB/RT モデル*	1
82802	ラベル ー 機能作動	1
82915	ラベル ー 手動下降弁	1
82973	警告 ー ピンを挿入する	1
82974	警告 ー 衝突の危険	1
82976	危険 ー 風速、20 in/51 cm アウトリガー*	4
82977	危険 ー 風速、26 in/66 cm アウトリガー*	4
82978	危険 ー 風速、30.5 in/77 cm アウトリガー*	4
82979	危険 ー 風速、36 in/91 cm アウトリガー*	4
82980	危険 ー 風速、40 in/102 cm アウトリガー*	4
82984	危険 ー 風速、85 in/216 cm アウトリガー*	4
82987	危険 ー 感電の危険	1
82988	ラベル ー マニュアルを読む、後方傾斜フレーム	1
97522	ラベル ー ホイール荷重	4
97523	ラベル ー アウトリガー負荷	4
97815	ラベル ー 中間レールを下げる	1
114373	危険 ー 感電の危険	1
124221	ラベル ー 入力電源、110 VAC*	1
1255889	ラベル ー マニュアルを読む	1
1257853	危険 ー 風速、75 in/191 cm アウトリガー*	4
1257854	危険 ー 風速、60 in/152 cm アウトリガー*	4
1260610	危険 ー 風速、46 in/117 cm アウトリガー*	4
1272242	ラベル – 機械の登録	1
1281175	ラベル – 安全帯固定箇所、落下阻止	1
1294398	ラベル ー ANSI/CSA 準拠	1
1298492	ラベル ー 入力電源、100VAC*	1
1298707	注意 ー 最大許容量/側方圧力、350 lbs、AWP*	1
1298711	注意 ー 最大許容量 300 lbs、AWP*	1
1298713	ラベル ー 輸送図	1
1299616	ステッカー ー 警告、作業台配置ランプ、シンボル	1
1299624	ステッカー ー 危険、積荷の移動	1
1305602	ラベル ー 入力電源、220 VAC、12A*	1

■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

点検


*82780
*82781
*41266
*41288
*1298492
*1305602
*124221
*28174
*28235
82974
82802
82987
82487
*28174
*28235
1281175
1294398
**52475
**97522
**97522
*82976
*82977
*82978
*82979
*82980
*82984
*1257853
*1257854
*1260610
97523
97523
82973
72086
1299616
*1298707
*1298711
82988
82481
97815
1255889
1272242
*82976
*82977
*82978
*82979
*82980
*82984
*1257853
*1257854
*1260610
52475
97523
97523
1298713
1299624
82915

操作手順



操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

2 名以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、各オペレータが、すべての安全規則と操作説明書の手順に従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前の点検、機能テスト、作業場の点検を行う必要があります。

操作手順

設置

1 作業場の真下のしっかりとした地面に機械を置きます。

2 適切な電源に接続します。

DC モデル: バッテリーパックを接続します。

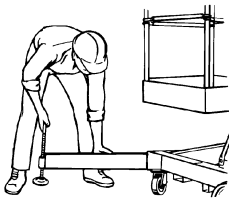
AC モデル: 接地されている 15A の AC 電源装置に接続します。50 フィート/13 m 以下の 12 ゲージ/3.3 mm^2 アース付 3 ピン延長コードを使用してください。

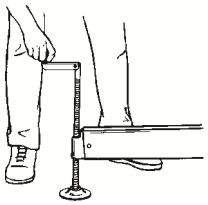
エア式モデル（搭載されている場合）: 空気配管を接続します。

3 キーを差し込んで作業台操作の位置に回します。

4 地上操作で赤色非常停止ボタンを引き出し、作業台操作で赤色非常停止ボタンを引いて回して解除します。電源ランプが点灯しているか、空気圧計（搭載されている場合）が 80～110 psi/5.5～7.8 バールを示していることを確認します。

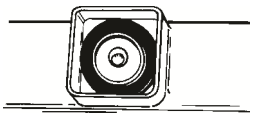
5 アウトリガーを取り付け、機械が水平になりベースキャスターが地上から少し離れるよう調節します。





6 地上操作で 4 つのインターロック表示ランプがすべて点灯し、4 つのアウトリガーすべてが地面にしっかりと接触していることを確認します。

7 水準器を使って機械が水平であることを確認します。



注記：調節が必要な場合は、水準器とインターロック表示を確認して、機械が水平で 4 つのインターロック表示ランプがすべて点灯していることを確認してください。

非常停止

1 作業台操作あるいは地上操作で赤色非常停止ボタンを押し、上昇機能を停止します。

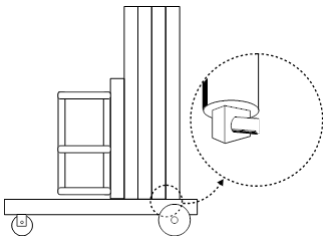
作業台の上昇と下降

1 地上操作で赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。作業台操作で赤色非常停止ボタンを回して解除します。

2 制御作動ボタンを押して、上昇/下降スイッチを任意の走行方向に回します。

手動下降

1 油圧シリンダーの底にある手動下降弁を作動させます。



操作手順

作業台補助下降 — AC および DC モデル

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

2 地上操作で作業台補助下降ボタンを作動します。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、風雨にさらされない、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

2 キャスターブレーキ（搭載されている場合）を使用するか、輪止めをかまして、機械が動かないようにします。

3 関係者以外による使用を避けるためキーを取り外してください。

4 DC モデル： バッテリーを充電します。

機械の収納

長期保管のための準備と収納を適切に行うことで、機械を再び使用することが容易になります。

1 基本的な機械の収納方法については、「使用後の注意」のセクションを参照してください。

2 この機会は、乾燥した風通しのよい場所に保管してください。機械がきれいで、乾燥していることを確認してください。

3 動作前点検を完全に実施します。

エンジン搭載モデル：燃料タンクを満タンにします。

4 該当するサービスマニュアルの「定期保守点検」のセクションを参照し、各潤滑手順を完了させてください。

5 バッテリーを取り外して保管します。

6 エンジン搭載モデル：その他の長期保管の手順については，OEM エンジンのマニュアルを参照してください。必要に応じて、エンジンを始動して 10 分間作動させます。

メンテナンス



必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

☑ 法規に従って、適切に廃棄してください。

保守記号の説明

注意 以下の記号は、指示の目的を分かりやすくするために使用されています。保守手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。

この手順を行うためには、工具が必要です。

この手順を行うためには、新しい部品が必要です。

バッテリーのチェック - DC モデル

バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 警告 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 警告 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注意 このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリー通気孔のキャップを外します。

3 バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

4 バッテリー通気孔のキャップを取り付けます。

メンテナンス

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 作業台が完全に下がっていることを確認します。

2 作動油タンク側面の表示計を確認します。

⊙ 結果:作動油量が、表示計の中央を示している必要があります。このときに入れすぎないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rando HD 相当物

タイヤ空気圧の確認 - RT ベースモデル(搭載されている場合)

タイヤの空気圧を適切に保つことは非常に重要です。タイヤの空気量が適切でないと、機械の操縦に影響を与えます。

1 各タイヤを空気圧計でチェックします。必要に応じて空気を入れてください。

適切な空気圧がタイヤに記載されています。

空気管潤滑装置オイル量の確認 - エア式モデル(搭載されている場合)

潤滑装置キャニスターのオイル量を適切なレベルにしておくことは、機械の安全操作と性能を維持するために重要です。潤滑装置キャニスターのオイル量が適切でないと、危険な操作状態を招いたり、部品が故障することがあります。

1 作業台が完全に下がっていることを確認します。

2 潤滑装置キャニスターのオイル量が適切であるかを点検します。

⊙ 結果:オイル量は、潤滑装置キャニスターの上から 1/2 インチ/ 12.7 mm でなければなりません。

3 オイルを足すには、潤滑装置ベースからオイル潤滑装置キャニスターを取り外して行います。オイルを足したら、潤滑装置ベースにキャニスターを取り付け直します。

オイルの仕様	
オイルタイプ	10W 自動車用エンジンオイル

オイル潤滑装置キャニスターのドリップレートの確認 - エア式モデル（搭載されている場合）



潤滑装置キャニスターのオイルドリップレートを適切にしておくことは、機械の安全操作と機械の性能を維持するために非常に重要です。ドリップレートが適切でないと、部品が故障することがあります。

1 作業台を上昇している際、オイル潤滑装置の表示計を目視点検します。

⊙ 結果：表示計には、最高で 1～2 滴のオイルが見えなければなりません。

2 ドリップレートを変更する場合、流出量を減らすにはオイルフローコントロール弁を時計回りに、流出量を増やすには反時計回りに回します。

3 適切なドリップレートになるまでこの手順を繰返します。

空気フィルター/レギュレータキャニスターの点検 - エア式モデル（搭載されている場合）



エアモーターを高性能に保ち、耐用年数を維持するために、空気フィルター/レギュレータキャニスターの排水はきわめて重要です。キャニスターに水が溜まっている場合、エアモーターが十分な性能を発揮できません。また、続けて使用した場合は部品が故障することがあります。

1 空気フィルター/レギュレータキャニスターに水が溜まっていないことを確認します。

2 水が溜まっている場合は、キャニスターの底の排水プラグを緩めて排水します。

3 排水プラグをしっかりと締め直します。

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本機械の保守トレーニングを受け認定されている担当者が本機械のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機械の耐用年数を終えた際には、廃棄や廃車に関する地域や政府の規制をすべて遵守してください。詳細については、該当する Genie サービスマニュアルを参照してください。

バッテリーと充電器の操作手順



バッテリーと充電器の操作手順

必ず以下に従うこと。

☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。

☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。

☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。

☑ Genie 承認のバッテリーと充電器のみを使用してください。

バッテリーの充電

1 バッテリーにアクセスするためバッテリーパックの蓋を開けます。

2 バッテリー通気孔のキャップを外し、バッテリー液の量を確認します。必要に応じて、プレートが隠れる程度に蒸留水を入れます。充電の前には液を入れすぎないでください。

3 バッテリー通気孔のキャップを再び取り付けます。

4 DC 出力コードがバッテリーに正しく接続されていること確認します。黒をマイナス、赤をプラスに接続します。

5 接地されている AC 回路に充電器を接続します。

6 バッテリーが完全に充電されると、充電池のスイッチが自動的に切れます。

7 充電の終了後、バッテリー液の量を確認します。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルに、プレートが隠れる程度にバッテリー液（電解液）を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、いっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中にバッテリー液があふれることがあります。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

3 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

4 バッテリーを充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。このときに入れすぎないようにしてください。

輸送手順



輸送手順

必ず以下に従うこと。

☑ 輸送車両の最大積載荷重量と積載面が機械の重量を支えるために十分なものであることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。小型トラックのテールゲート (荷台の後尾ドア) が機械の重量をささえるために十分でない場合は、補強が必要です。

☑ 輸送車両を水平な地面に駐車している場合以外は、機械を載せないでください。

☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。

☑ 機械は、輸送車両にしっかりと固定されていなければなりません。チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

☑ 両方の旋回車は、必ず後方傾斜フレームにロックしてください。

☑ 機械が後方傾斜フレームに寄りかかった状態で、輸送しないでください。

リフトの手順

機械の積み降ろしには複数の人員が必要になります。その人数は次の条件により異なりますが、これらの要因に限定されるものではありません。

- 作業員の健康状態、体力、身体の障害、過去に負ったケガの状態
- 機械を動かす距離（垂直と水平方向）
- 機械を積み降ろしする回数
- 作業員の位置、姿勢、および機械をつかんでいる場所
- 持ち上げる手段
- 現場の状態と天候（滑りやすい、凍っている、雨が降っているなど）

ケガを防ぐために、適切な人数と正しい手段で作業を行ってください。

輸送手順

輸送のための積載

1 作業台を完全に下げます。

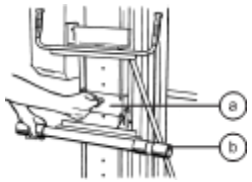
2 赤色非常停止ボタンを押し、キースイッチを回してオフの位置にしてキーを取り外します。

3 ベースからアウトリガーを取り外し、収納口に収めます。

4 DC モデル: バッテリーケーブルを外して、バッテリーパックを取り外します。

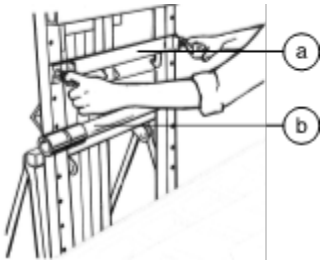
5 緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

6 ストップブラケットをトップロック位置にスライドさせます。



後方傾斜フレームを搭載しないすべてのモデル

a ストップブラケット
b ローディングピボット

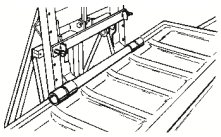


後方傾斜フレームを搭載するすべてのモデル

a ストップブラケット
b ローディングピボット

7 ローディングピボットをストップブラケットに掛けます。

8 機械を積載する面にぴったりとつけます。積載面より上にある、一番下のロックピンの位置までストップブラケットを下げてロックします。



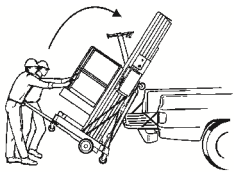
9 後方傾斜フレームを搭載するすべてのモデル:

両方のストップブラケットロックピンがしっかりとロックされていることを確認してください。

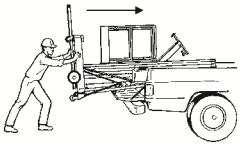
両方の後方傾斜フレーム旋回車がロックされていることを確認してください。

10 ロックピンが正しい位置にスナップするまで T ハンドルを引き出します。

11 T ハンドルを持ち上げて、機械を積載面上に傾けます。適切な人数の作業員と正しい手段で作業を行ってください。



12 輸送位置まで機械を慎重に押します。



13 スライド式 T ハンドルを収納位置に戻します。

14 機械の本体とマストを輸送車両にしっかりと固定します。次のページの「機械の固定」を参照してください。

15 機械を降ろすときは、この逆の手順を行ってください。

輸送手順

平台トラック上への機械のウィンチ

1 作業台を完全に下げます。

2 赤色非常停止ボタンを押し、キースイッチを回してオフの位置にしてキーを取り外します。

3 ベースからアウトリガーを取り外し、収納口に収めます。

4 緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

5 ベースの後方にあるウィンチ個所にケーブルを取り付けます。

6 慎重に機械をトラック上にウィンチします。

7 機械の本体とマストを輸送車両にしっかりと固定します。「機械の固定」を参照してください。

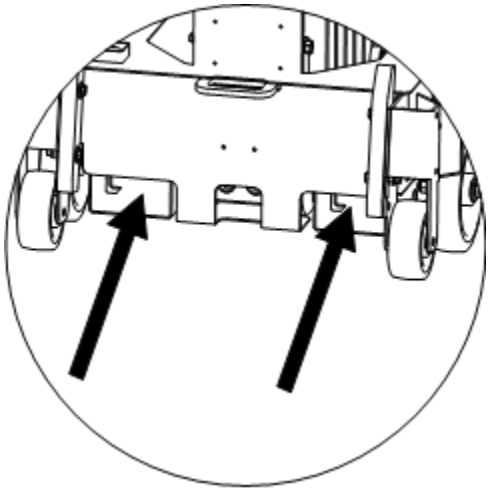
フォークリフトによる機械の持ち上げ（搭載されている場合）

機械全体を点検し、緩んでいたり固定されていないものを取り外します。

作業台を完全に下げます。作業台は、積載と輸送のすべての手順を行う間、下げたままにしておく必要があります。

機械をフォークリフトで持ち上げる前に、バッテリーパックを取り外してください。バッテリーパックを取り外す前に、バッテリープラグを外してください。

機械の後部にあるフォークリフト ポケットを使用します。フォークリフトポケットは標準ベースの AWP でのみ利用可能です。狭幅および不整地用ベースの AWP はフォークリフトで持ち上げることはできません。



フォークリフト ポケットでフォークリフトのフォークを所定の位置に配置します。

フォークが伸長する限度まで前進します。

機械を 6 in/15 cm 上げ、フォークを少し傾けて、機械の安定を保ちます。

フォークを下げたとき、機械が水平になっていることを確認します。

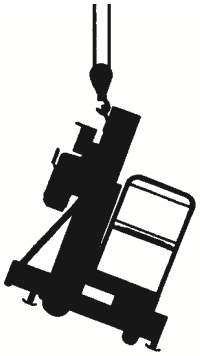
輸送手順

クレーンによる機械の 積載

マスト柱の後ろに取り付けられたリフト用金具を使用します。

機械をクレーンで持ち上げる前に、バッテリーパックを取り外してください。バッテリーパックを取り外す前に、バッテリープラグを外してください。

機械全体を点検し、緩んでいたり固定されていないものを取り外します。



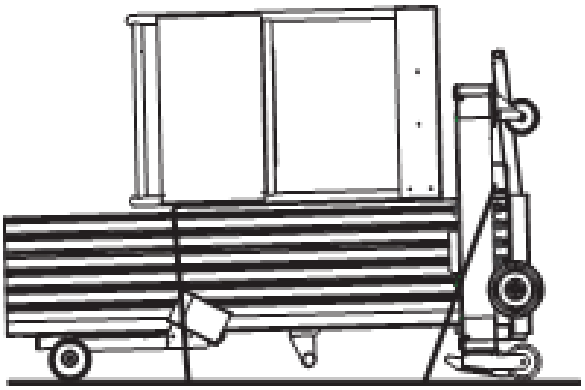
リフト用フックは、必ず機械と逆に向くようにリフト用金具に通してください。

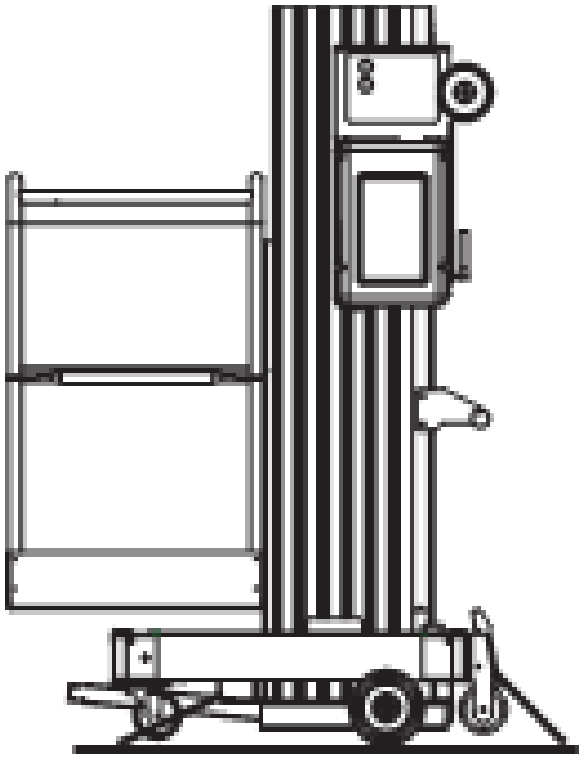
機械の固定

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低でも 2 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンの損傷を防ぐため、装具を調節してください。





後方傾斜の操作手順

後方傾斜の操作手順

必ず以下に従うこと。

☑ スプリング式の後方傾斜フレームが倒れないよう、必ず固定ピンを挿入してください。

☑ 周りに人がいたり障害物がある場合は、機械を後方に傾けないでください。

☑ 後方傾斜フレームを上げ下げしているときは、後方傾斜フレームの後ろや下に立たないでください。

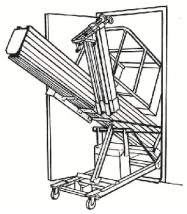
後方傾斜の操作手順

機械の積み降ろしには複数の人員が必要になります。その人数は以下のような多くの要因により異なりますが、これらの要因に限定されるものではありません。

- 作業員の身体の状態、体力、障害、過去の負傷
- チルトバックアセンブリを使用した機械の下降・上昇の回数
- 作業員の足場、姿勢、および握り方
- 持ち上げる手段
- 現場の状態と天候（滑りやすい、凍っている、雨が降っているなど）

ケガを防ぐために、適切な人数と正しい手段で作業を行ってください。

後方傾斜フレーム（搭載されている場合）



Genie AWP Super Series は、機械が標準の戸口を通って移動することを可能にする後方傾斜フレームを搭載しています。後方傾斜フレームは、標準ベースの AWP-36S と 40S モデルに標準装備されており、標準ベースの AWP-15S、20S、25S、30S モデルではオプションとして提供されています。狭幅ベースや不整地用ベースの機械には、後方傾斜フレームは使用できません。

後方傾斜の操作手順

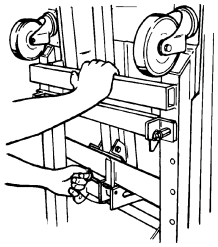
後方傾斜アッセンブリの下降

1 機械の後ろや後方傾斜フレームの下に、人がいないこと、および障害物がないことを確認します。

2 作業台を完全に下げます。

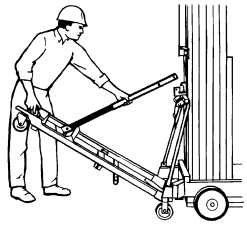
3 ベースからアウトリガーを取り外し、収納口に収めます。

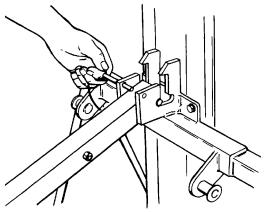
後方傾斜フレームはスプリング式であるため、固定ピンが外されるとすぐに外側へ倒れます。後方傾斜フレームをしっかりと握ったまま、固定ピンを外します。



4 後方傾斜フレームを下げ、後方傾斜支柱を支柱収納口に導きます。

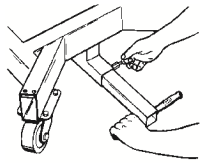
5 固定ピンを支柱収納口に挿入します。



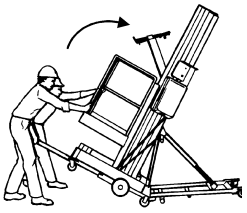


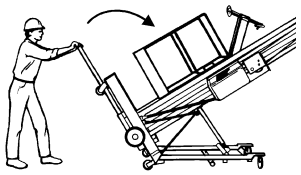
機械の後方傾斜

1 ロックピンが正しい位置にスナップするまで T ハンドルを引き出します。



2 機械を T ハンドルで持ち上げる際の傾斜中間位置とは、後方傾斜フレームのキャスターが地面に接触し、機械が後方傾斜フレームの伸長した支柱によりサポートされる位置を意味します。適切な人数の作業員と正しい手段で作業を行ってください。





3 伸縮式の後方傾斜支柱が完全に圧縮されるまで、持ち上げます。

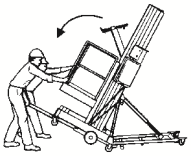
4 スライド式 T ハンドルを収納位置に戻します。

後方傾斜の操作手順

機械を直立位置に戻す

1 機械本体および T ハンドルの下に人がいないこと、および障害物がないことを確認します。

2 ロックピンが正しい位置にスナップするまで T ハンドルを引き出します。



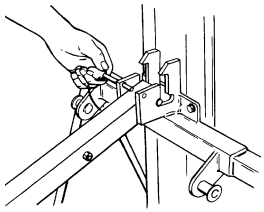
3 機械が傾斜中間位置で静止するまで慎重に T ハンドルを引き下げます。

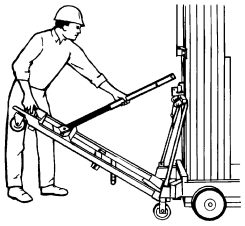
4 ベースキャスターが地面に接触するまで、T ハンドルで機械を下げます。適切な人数の作業員と正しい手段で作業を行ってください。

5 スライド式 T ハンドルを収納位置に戻します。

後方傾斜アッセンブリの格納

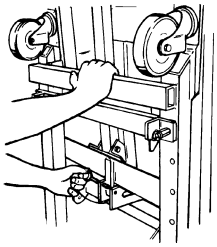
1 固定ピンを外します。





2 後方傾斜フレームをしっかりと握り、後方傾斜支柱を支柱収納口から外します。

3 後方傾斜フレームをスプリングに寄りかかるように直立の位置まで持ち上げ、固定ピンで固定します。



仕様

機械仕様	
高さ、操作時最大	
AWP-20S	26 ft 1 in/8.0 m
AWP-25S	30 ft 9 in/9.4 m
AWP-30S	35 ft 6 in/10.8 m
AWP-36S	42 ft 5 in/12.9 m
AWP-40S	46 ft 3 in/14.1 m
高さ、作業台最大	
AWP-20S	20 ft 1 in/6.1 m
AWP-25S	24 ft 9 in/7.5 m
AWP-30S	29 ft 6 in/9.0 m
AWP-36S	36 ft 6 in/11.1 m
AWP-40S	40 ft 3 in/12.3 m
高さ、収納時	
AWP-20S、25S、30S	78 in/2.0 m
AWP-36S、40S	109.5 in/2.8 m
幅、すべてのモデル	
標準ベース	29 in/73.6 cm
狭幅ベース	22 in/55.8 cm
不整地用ベース	29.5 in/75 cm
奥行き、AWP-20S	
標準ベース	49 in/124.5 cm
狭幅ベース	49.8 in/126.5 cm
不整地用ベース	63 in/160 cm
奥行き、AWP-25S	
標準ベース	51.5 in/130.8 cm
狭幅ベース	52.3 in/132.8 cm
不整地用ベース	63 in/160 cm
奥行き、AWP-30S	
標準ベース	53 in/134.6 cm
狭幅ベース	54.8 in/139.2 cm
不整地用ベース	63 in/160 cm
奥行き、AWP-36S	
標準ベース	55 in/139.7 cm
奥行き、AWP-40S	
標準ベース	56 in/142.2 cm
重量	シリアルプレートをご覧ください。
最大輪荷重	509 lbs/231 kg
最大アウトリガー荷重	400 lb/181 kg

リフト積載荷重量	
AWP-20S、25S、30S、36S	350 lbs/159 kg
AWP-40S	300 lbs/136 kg
電源	
DC モデル	12 V
AC モデル	110 V または 220 V
エア式 モデル	100 psi/6.9 バール @ 80 cfm/37,760 cc/秒
周囲操作温度	-20°F ～ 135°F -29°C ～ 57°C

作業台寸法（奥行き x 幅）	
ゲート式またはスライド式中間レール式の標準作業台	27 x 26 x 44.75 in 69 cm x 66 cm x 1.1 m
ゲート式超狭幅作業台	22 x 18 x 44.75 in 56 cm x 46 cm x 1.1 m
ゲート式狭幅作業台	26 x 20 x 44.75 in 66 cm x 51 cm x 1.1 m
標準ファイバーグラス製作業台	29 x 26.5 x 43.5 in 74 cm x 67 cm x 1.1 m
狭幅ファイバーグラス製作業台	26 x 22 x 43.5 in 66 cm x 56 cm x 1.1 m

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

仕様

アウトリガー仕様 - 標準ベース	AWP-20S	AWP-25S	AWP-30S
アウトリガー接地面積（長さ x 幅） 屋内	60.75 x 52.75 in 1.5 x 1.3 m	69.25 x 61.25 in 1.8 x 1.6 m	75.50 x 67.50 in 1.9 x 1.7 m
アウトリガー接地面積（長さ x 幅） 屋外	97 x 89 in 2.46 x 2.26 m	117.25 x 109.5 in 3.0 x 2.8 m	117.25 x 109.50 in 3.0 x 2.8 m
角へのアクセス/壁へのアクセス* 屋内	14.50/5.50 in 36.9/7.4 cm	19.25/7.25 in 48.6/18.2 cm	22.25/8 in 56.5/20.3 cm
角へのアクセス/壁へのアクセス* 屋外	30/16.75 in 76/42.4 cm	32.50/17 in 82.5/43.4 cm	50.75/28.75 in 1.3 m/73 cm
* ジャッキが回転可能な位置での作業台上部手摺りの角から壁の角まで。			

アウトリガー仕様 - 標準ベース	AWP-36S	AWP-40S
アウトリガー接地面積（長さ x 幅） 屋内	83.25 x 75.25 in 2.1 x 1.9 m	89 x 81 in 2.3 x 2.0 m
アウトリガー接地面積（長さ x 幅） 屋外	139 x 131 in 3.5 x 3.3 m	153 x 145 in 3.9 x 3.7 m
角へのアクセス/壁へのアクセス* 屋内	28.50/14.25 in 72.7/36.2 cm	31.25/14.50 in 79.4/37.1 cm
角へのアクセス/壁へのアクセス* 屋外	52/31.25 in 1.3 m/79.3 cm	50.75/28.75 in 1.3 m/73 cm
* ジャッキが回転可能な位置での作業台上部手摺りの角から壁の角まで。		

アウトリガー仕様 - 狭幅ベース / 不整地用ベース	AWP-20S	AWP-25S	AWP-30S
アウトリガー接地面積（長さ x 幅） 屋内使用のみ	71.25 x 58 in 1.8 x 1.5 m	71.25 x 58 in 1.8 x 1.5 m	83 x 74 in 2.1 x 1.8 m
狭幅ベースまたは不整地用ベースの機械は、長さのあるアウトリガーを装備している場合であっても屋内使用のみです。			
角へのアクセス/壁へのアクセス* 屋内	21/12.25 in 53.3/31.1 cm	19.50/9.75 in 49.5/24.7cm	22/9 in 55.8/22.8 cm
* ジャッキが回転可能な位置での作業台上部手摺りの角から壁の角まで。			

代理店:

www.genielift.com